



7月28日に岩見沢で開催されるSTV開局60周年記念ライブSUNNY TRAIN REVUE会場にてテント設営をしながら1つ1つ学ぶ新入社員の井上さん (7月24日 竹岡昌彦撮影)

かたぎり



編集：竹岡昌彦

レンタコム

イベント事業活況

6月から10月初旬にかけて、音楽フェスやゴルフトーナメント、また花火大会やビアガーデンなど道内の各種イベントが目白押しとなり、レンタコムのイベント事業が活気に満ちあふれている。
内製化を進め高効率を追求する一方で、やはり人材不足によるシフト難や休日対応も避けて通れず、今年入社した新入社員3名の営業も連日汗を流しやりがいを感じながら、経験を積んでいる。
レンタコムの「今」と「今後」について、札幌支店の近藤支店長に話して頂きました。

レンタコム北海道

札幌支店長 近藤 洋一



内製化により収支改善と現場改善が出来た

6月に開催される「花フェスタ札幌大通会場」・「北海道神宮例祭 札幌祭り」を皮切りにレンタコムのイベント事業が本格的に動き出します。
毎年のごとですが、6月から10月初旬までの期間、道内におけるイベントが重なり過ぎておりその期間は人材不足に陥りま

す。
過去はレンタコム営業員と運送会社で設営や撤去作業を行っていた時代があり、流通センターとの分業がきっちりできていた一方で収支が芳しくなく「内製化」ということでセンターの社員による施工を開始したのが5年ほど前のこと。
内製化することによって得たものが2つあり、1つは収支の改善と、もうひとつが施工技術や

7月・8月の主な大型イベント本番日程

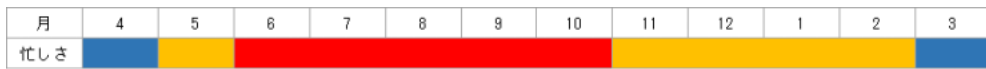
本番日程	主催	催し物
7月5日～7月8日	テレコン	セガサミーゴルフトーナメント
7月6日～7月8日	ダスキン	ニッポンハムレディース
7月12日～7月15日	バンセイ	日本シニアオープン
7月12日～7月16日	ホクレン	国際農業機械展
7月14日、15日	マウントアライブ	ジョインアライブ
7月20日～8月15日	大通り公園	ビアガーデン3会場
7月27日	北海道新聞社	花火大会
7月28日	STV創立60周年	SUNNY TRAIN REVUE
8月2日～8月4日	テレコン	MEIJI CUP
8月10日、11日	WESS	ライジングサン
8月22日～8月26日	ダスキン	ニトリレディース
8月25日	マウントアライブ	十勝アライブ
8月25日、26日	WESS	GLAY函館
8月26日	北海道新聞社	北海道マラソン

現場ノウハウを得たことで、各イベントによって段取りが違いますが1つ1つこなすことにより翌年度から同じイベントを受注したときには前回経験していることもありスムーズに対応出来るようになり、更にその翌年度以降からはイベント自体がスムーズに行くように改善提案していくようになってきました。
今年、4年に一度開催される

作業人員不足も

グループの力が大きい

イベント事業の年間繁忙期と閑散期



- イベント数が非常に多く重なり過ぎている為、レンタコム社員だけでは対応しきれなくなる
- 多少イベント数はあるが、レンタコム社員のみで対応可能
- 道内のイベント自体が少なく、レンタコムとしてもイベント事業は閑散期となる

その時、帯広拠点の片桐機械と日建片桐リース社員の協力を得て、無事に解体撤去作業が終了しました。

「国際農業機械展」(7月12日～16日までの5日間帯広にて)が開催され、全134ブース中、17ブース、テナントやFTパネルシステム、会議用テーブル・折りたたみ椅子など受注し、約2700万円の売上を計上しました。
受注した中で一番大きな「ヤンマーアグリジャパン」の大型テントは設営・撤去に10名携わり7月の他のイベントでレンタコム社員の手が空いていない状況になってしまいました。



一番大きな受注となった「ヤンマーアグリジャパン」のブース。中は一部ロフト風になっている

「誰じやなきや出来ない」をやめ、
仕事の領域を広げる

今回の「農機展」の解体・撤去作業は片桐機械や日建片桐リースの社員も初めての体験だったと思いますが、それで得た経験を蓄積し次に活かそうという活動をグループ全体に浸透させる活動が始まっています。グループ商品の「抱き合わせ営業」や各社が情報を持ち寄る「情報交換会議」などと平行して、今は請求業務やフロント業務の交流も始まっており、「この仕事は誰じやなければできない」を無くすことにより社員が出来る仕事の領域が広がり、自分が処理した内容が次のように展開されていくかが理解出来るようになって、全体を把握することに繋がることを目的として活動しています。

イベント現場は、
常に天候との戦いが続く

7月初旬は、あまり天候が良く無く雨の日が続きました。イベント当日の雨もいやですが、設備準備段階での雨も工程に非常に大きく影響してきます。

- 例えば、札幌大通りで開催されているビアガーデン（7月20日～8月15日まで開催）の設備では、①プレハブ設置、②電気設備工事、③看板設置、④放送設備設置、⑤テーブル・イス搬入という順番となりそ

それぞれの業者がスケジュールを組んでいますが、①プレハブ設置の日に雨が降ると作業が止まり、その後の工程が全てずれ込むことにより各業者のスケジュールが合わず、全体がのびのびになってしまおうということがあります。

自分たちはきちんと工程の基づき作業をしているのに、お客様からの評価が得られないときは辛い思いもします。

かと思えば、急に30度近い灼熱の日が続き水分補給し休憩を取りながら作業するのと思うように進まない日もあります。



灼熱の中、テント設営する協力業者とレンタコム社員
(昨年のライジングサン・ロックフェスティバル会場にて)

3年前の危機
脱出から野望へ

3年前、イベント事業部の社員が相次ぎ退職していき、イベントに対するノウハウが無くなったことにより一時的に危機的状況となりました。そんなときに片桐機械から北本本部長がレンタコムに来てくれまして、当初は法人関連のてこ入れということが主目的であったが、その前にイベント事業の問題が山積しており課題解決に取り組んで頂きました。

今となつては業種業態を問わず、「札幌支店」として一本化し、全員で立ち向かっている最中です。

そんなレンタコムが次に狙うのは、レンタコムが主催する今までにない新しいイベントを冬に道東で開催する案が浮上してきています。

やはり冬期間の売上の底上げという観点もありますが、夏に偏らないように冬の北海道も盛り上げていきたいという強い思いから「主催者側」をやってみたいという発想になりました。

現在は企画・運営を検討中でスポンサーや作業支援してくる業者も集める準備をしており今後もレンタコムはイベントを通じて次々と新しいことを考えていきます。



北海機材



ベトナムからようこそ

技能実習を通じて文化に溶け込む

6月5日(月)にベトナムから到着した4人。到着後に日本の受入施設であるキヤリアバンク様の学習センターで、日本の文化や交通ルールなどを1ヶ月学び、7月5日から北海機材工業の恵庭本社工場で技能実習生として働くことになりました。



北海機材工業の社員と一緒に働き、仕事の知識や経験と共に言葉や文化も身に付けて、公私共に充実した生活を目指す(前列4名がベトナム人 7/19竹岡昌彦撮影)

早く職場や文化に慣れる



溶接のセンスがあるダアウさん

仕事の内容は溶接修理業務。取材に伺った19日にはちょうど2週間が経ち、彼らは黙々と溶接や修理点検業務を行っていた。一番年上のダアウさん(31)は、現地の民間工場で8年間溶接の修理業務を行っており、溶接のセンスが良いと片野統括は評価する。恵庭で働く社員たちからの教示も親切丁寧で、非常に判りやすいと実習生たちも満足だ。ベトナムと日本の文化の違いをアンさん(24)に聞いたところ、日本人は時間に厳しくきっちりしている、また交通機関が良いの

でいいでも行きやすいし、気候が良いなど違いを語る。余談ではありますが、煙草の文化に驚き。日本の紙巻き煙草は小さく細いもので1本を約10回に分けて吸うものですが、ベトナムの煙草は大きな竹筒のようなものの先端に葉っぱを詰め込み1回で終わる。一瞬の出来事。休日には近隣に散歩や買い物なども行っているようだが、アンさんは部屋で日本語の勉強をしており、早くもつと日本人と交流を図りたいと語る。日本に来るまでの間も母国で、日本語や日本の文化の勉強を行っているがこちらに来てみるとまだまだ聞き慣れない言葉



北海機材の社員と一緒に昼食をとる実習生たち

が飛び交う中で、1つ1つ吸収しモノにする意気込みが見受けられる。4人で1部屋に住んでおり、部屋の掃除も分担し清潔に維持している。また外食は極力避けて自炊し職場にも自分達で作っている弁当を持参するべくお金を掛けないように節約しながら生活しているという。これから仕事のことや生活のこと、近隣のことなどを実体験として学んで行き北海社員はもちろんのこと、多くの人と触れ合っただけのことを学んで充実した日本生活を送ってもらいたい。



受入機関と片桐社長と交流を深める実習生たち

桐和会

札幌圏干支別レク始動



桐和会 札幌圏干支別レクレーション開催

巳年の会



第一弾 まずは「巳年」実施 小樽で日本酒造り体験 16名参加

グループ札幌圏桐和会の干支別レクが始まりました。まず皮切りに「巳年」チーム（対象者25名 内参加者16名）が6月30日に小樽で日本酒造り体験&ホテルでフレンチ料理を楽しむレクに出発。果たして日本酒はうまく造れたのか？



小樽「田中酒造」の前で記念撮影する参加者たち（6月30日 小樽にて）

日本酒の試飲がうまい！
フレンチも美味しく大満足！

レンタコム北海道

統括流通センター

藤島 剛



札幌圏初の干支別レクは「巳年チーム」が小樽でレクを行いました。9時30分に札幌駅に集合。天気は晴天。

5分前に集合場所に到着すると、バスの前には巳年チームの幹事、我がレンタコム北海道の小高根さんが笑顔でお迎え。バスに乗り込むとすでに来ていた同僚の佐藤さんがすでに到着しており、隣に着席。

今回のレクは小樽へ行き、酒蔵体験をして、ホテルで食事と言う内容。どんな旅になるのか…。予定時間を15分程早めて出発。車中では自己紹介を兼ねた挨拶を各自行い、顔と名前を把握。まあ、全員は無理ですけどね！そんなこんなで10時には小樽に到着。

小樽市信香町にある田中酒造。亀甲蔵での酒作りを2班に分けて見学、体験する工程でした。バスを降りるとまずは全員で記念撮影。天気が良くて写真撮影にはもってこい。

明治時代に建てられたという情緒あふれるたたずまい。中に入ってまずは酒蔵の方から田中酒造の歴史などを拝聴。

試飲はまだか…酒蔵内を見学し、仕込みの樽入れ体験をしてから待ちに待った試飲の時間！

3種類の酒を堪能。日本酒用のグラスを使用すると香りが変わりがかなりの驚き。「うまい！」

試飲が終わると1階のお店でそれぞれお土産購入。試飲した以外にもいろいろな種類の日本酒があり、何を買おうか迷ってしまう。



酒造りを体験するメンバーたち



食事をしながら懇親を深める

田中酒造さんを後にして、次は小樽水族館のそばにある、海を一望できる「ノイシュロス小樽」でのランチタイム。

フレンチ？なのかよくわからないコース料理をいただく。特にエビの濃厚なスープが絶品！

皆うまいと喜んでいました。（特に小高根さんが大喜び）おいしいお酒と料理でお腹も心も満足し、帰路へ。

今思うとなかなか良い旅だったのかなど。これからレクを行う干支の方々も良い旅を！



自分達が酒造り体験をした日本酒にオリジナルレットルが貼られたものを後日各自に配布予定となる。



桐和会 札幌圏 干支別レクリエーション開催



辰年の会



桐和会

第二弾「辰年」レク開催

夜のモエレ沼でラグジュアリーなひとときを 山頂から雄大な景色を楽しむ



モエレ沼公園の噴水をバックに記念撮影するメンバーたち（7月7日）

札幌圏干支別第二弾レクは「辰年チーム」（全18名対象、15名参加）がモエレ沼公園にあるガラスのピラミッド内にある「ランファン・キ・レーヴ」でフレンチを楽しみながら懇親を図り、モエレ山登山をして雄大な景色を参加者全員で堪能するという催し物を実施しました。



モエレ山を登山するメンバーたち

開催日の7月7日は七夕でしたね。当日の流れは、18時に札幌駅に集合↓タクシーでモエレ沼公園に移動↓モエレ山登山↓写真撮影↓ガラスのピラミッド内のフレンチ料理店で懇親を深める↓再びタクシーで札幌駅へ↓解散という流れでした。



モエレ山登山で息切れ、膝ガクガク！それも貴重な体験！
カタギリ・コーポレーション
マルチプリント事業
部田 朋美

まず、モエレ山の登山（といっても小さな山）ですが、私は根拠もなく登山には自信がありました。がしかしっ！。頂上に着く頃には、息は切れるは、膝はガクガクするほど、自分の年齢を実感した瞬間でもありました。
次に、フランス料理店での食事ですが、普段は自分では行くことのない高級な店で雰囲気があり、料理も美しく、お酒も美味しく、貴重な体験をしました。
行きと帰りのタクシーですが、私は北海機材工業の神さん、小森さんと一緒でした。タクシーでの移動時間が結構長くて、お二人とはほぼ初対面と思いますが、色ん



グループ間交流を図るメンバーたち

な話をした記憶があります。お二人とも、私の話に付き合ってくれて、有難うございました。
最後になりましたが、今回幹事だったHOSの神田さん、レンタコムの三浦さん、日建の高村さん、片桐機械の大嶋さん、忙しい中、何回かの打合せ（コーポビルで見かけました）、当日の段取り、大変お疲れ様でした。
お陰で楽しい時間を過ごすことが出来ました。有難うございました。



ラグジュアリーな空間で食事をしながら懇親を深めるメンバーたち

片桐ビル

カタギリグループの美しきゴミ拾い 企業CSR活動 札幌を綺麗に

レンタコム北海道

札幌支店 営業課

樫見 大輔



(札幌) コーポビル全体で推進しているCSR (企業の社会的責任) 清掃活動を6月30日に実施した。

今年も大通公園で開催されている花フェスタ2018 (6月23日〜7月1日) 札幌大通公園4丁目〜8丁目) 会場を中心に朝



CSR活動に参加するグループメンバーたち



綺麗な景観を保つ札幌大通公園

から10名程度で実施したが、リコーさんやコカ・コーラさんなどのボランティアチームも同活動をしていることから大通近辺は綺麗な景観を保っている。ロシアワールドカップのときも日本人サポーターの美しきゴミ拾いが世界に浸透し、賞賛に値するトレンドとなったこともあったせいか、カタギリグループの清掃活動に見とれていた訪日外国人の熱い眼差しが視界に入ってきた。今後も同様の活動を継続的に、このような活動を通じて社員の意識の活性化と企業ブランド意識を向上させると共に、地域に寄り添い綺麗な札幌に貢献したいとレンタコムの樫見さんは語る。

堂端修己の最近Do? - Shuki Dohata

ちょっと前の出来事を思い出す (歓送迎会)

(第13回)

皆さんこんにちは。今年度に入り、早4ヶ月が過ぎました。

3月に日建片桐リースの紺田さん・竹内さんの歓送迎会で出会ったウォッカベースのカクテル。その名も「カミカゼ」。

いつも飲むたびに堂端の記憶を消してしまう魔法のお酒です。釧路のみなさんと初めて飲んだ時の写真がこれです。この時のことさえ、堂端的には覚えておりません。

(参考までに、カミカゼはウォッカ・ホワイト・キュラソー・ライムジュースのカクテルです。) 良い機会なので、4月に転動してきた日建片桐リースの竹内さんから一言どうぞ。

■竹内喜教より

日建片桐リースの竹内です。赴任して3ヶ月経ち、フレンドリーで良い人ばかりの拠点と感じました。

赴任初日に今、日建片桐リースで売り出し中の次世代足場「ダーウィン」の出庫に立ち会うところから釧路生活が始まりました。前任者の紺田さんや釧路支店のみなさんのおかげで大当たり!

札幌では4現場を経験。釧路での出庫現場が多くて驚いています。

ダーウィンは新商品のため、お客様の建設会社の人は物を知りません。そのため、いつも納品の時は建設会社の現場代理人や実際にダーウィンを組み立てる齋さんの間を飛び回ってフォローして、個人的にテンパっています。



今年3月に竹内さんの歓迎と紺田さんの送迎と一緒に盛り上がる最中、堂端は「カミカゼ」にやられて記憶が無くなる

あと、先月号の記事で「カタギリ農園」に水をやる子供たちの写真が載りました。6月下旬に撮影したのに載るの早すぎませんか? こんな竹内ですが、みなさんよろしくお願ひします。

それでは、また。DO端でした。



第36回

日建片桐リース
レンタコムウエル札幌
及川 忍さん



「娘のフットサルと
ときどきスヌーピー」

私の事を投稿します。と言っても無趣味だった・・・。

そつだ！反抗期真っ只中のクソ生意気な愛娘の習い事を書こう。小学校に上がってから、スイミングを3年間通い、その後文系に変更し、書道を約1年半通っている。



フットサルに夢中の娘

友達からの誘いにより始めたフットサル。今では大きな試合に母娘で見に行くまで興味を持つ。

ました。その後、またも運動系への変更で、今年の4月に小学校6年生になってから、フットサルスクールに通い始めました。なぜ、フットサル？という疑問も私自身あったのですが、理由としては、友達との遊びの中でやっていくうちに、仲良しの女の子と一緒にやろうと誘われたのがきっかけのようです。

友達からの誘いにより始めたフットサル。今では大きな試合に母娘で見に行くまで興味を持つ。



という感じなので、男女混合で大丈夫かな・・・と不安もありましたが、すぐに仲良くなった男の子もいたようで、通うのが楽しいようです。「目指せなでしこ」とはいきませんが（汗）体力づくりの為でもあるスクールなので、来年の中学校入学までの期間に、楽しんで体力も付けてくれれば良いのかなと思います。

6月24日（日）に、そのフットサルスクールからチケットを頂いたので「エスポラーダ北海道」のホーム開幕戦を見に行ってきました。初のフットサル観戦でしたが、徐々に人が多くなり、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。開幕戦とあったせいか5000人以上の動員だったようです。

やっぱり生で見るスポーツは、迫力がありますね！コートと観客席との間がそこまで離れていないのと、ネットがある訳ではないので、ゴールしようとしたボールが勢いよく客席まで飛んでくるので、より試合から目が離せませんでした。（笑）

正直、娘がスクールに出会うまで、フットサルのルールも知らない状態でしたが、間近でプロの試合を観戦すると興味が湧いてきま

すね（笑）

スヌーピーが好き



もう一つ、私自身の事についてですが、ここ数年の中で集め始めた、「スヌーピー」グッズ。元々、キャラクターものには、あまり興味がなかったのですが、小さい頃からなんとなく、キャラクターの中からこれが好きな方かな・・・、と思っていたぐらいのスヌーピー。特に、きっかけもなかったのですが、ふと気づくと、なぜだかスヌーピーのグッズに目が行くように・・・。終には、娘の文房具を買う時、スヌーピーのものが

たくさんあるので、つい「これかわいいよ」と平ば、強引に薦めるうちに、最初は興味もなかった娘も次第に気になるようになってきたようで、今は、大好きになったようです。ある意味洗脳ですね。（笑） 親娘で、部屋着ですがペアルックで過ごすこともあります。

私の友人達の中でも、意外（?!）とスヌーピー好きが多い事に気が付き、この歳になってから身の回りのものなど、プレゼントにスヌーピーグッズを選ぶこともあります。札幌駅のステラプレイスにある、スヌーピーショップへ親子で行くと、あれもこれも欲しくなってしまうので、なるべく避けて、たまにしか行かないようにしています。



誌面に掲載しきれないほどのスヌーピーグッズが並ぶ

（汗）
年甲斐もなく、キャラクターグッズを・・・と思われないかな？と躊躇していたのですが、歳を重ねるごとにだんだん、気にしなくなってきたので、これからも飽きるまで（?!）は、母娘でグッズを集めていこうと思えます。



企画コーナー

若者の叫び!!

Cry of the youth

片桐企業グループの10代・20代の社員に日々仕事をしていて感じる改善点や野心・野望のようなもの、また将来どのように成長していきたいかを叫んでもらうコーナーです。

「安全で確実な整備をするぞ！」

(第27回) 片桐機械 北見レンタルセンター 落井一樹さん

片桐機械北見レンタルセンター所属、落井一樹です。今回若者の叫びを担当させていただきます。入社1年と7ヶ月が過ぎて、当初に比べ少しずつではありますが仕事にもなれ始め色々な仕事を任せて頂けている様に感じます。

前職は、某ディーラーで自動車の整備の仕事をしていてある程度整備に対しての知識はあるつもりで居たのですが、実際に建設機械等の整備作業をさせて頂くと自動車には使われていないような機械、使用されている部品の大きいことによる整備方法の違い等、色々学ぶことが多いです。特に建設機械は部品が重量物なので人力では行えない事が多く吊作業をする場面も多くあり、安全に行うためのしっかりとした作業計画を立てる必要があります。

そのような時には、いつも上司である宮田工場長に相談し、安全で適切な作業が行えるよう指導して頂いております。

整備作業を行う際に一番大事なのは「確実な整備」する事、それよりも作業自体を「安全」に行う事だと思います。どのような作業をしても少なからず危険は付きまといまいます。日々の仕事の中で少しでも危ないと思った時には、声掛けをしたり話合う場を設けたりすることが必要になってきます。



毎月行われているリスクアセスメントの打合せの際に、どのようなものが危険作業に当たるかをしっかりと理解し、作業一つ一つに対して、しっかりとした認識を持ち、それを共有することが大切だと思います。

その為にも安全講習や技能講習、技能検定など色々な資格を取得して多くの専門的な知識や取り扱いを学び、それらを生かして安全意識を高めていこうと考えています。

整備に関しても、諸先輩方の働く姿を見習って整備技術の向上を目指して日々の仕事に努めていきたいと思っています。



中投げでゲット 良型クロガシラ 4匹
良型のクロガシラを手にしてきた小松さん

★「週刊釣り新聞ほっかいどう」より
釣りも得意。

そんな小松さんは、畑だけではなく海釣りも得意。

霧雨にも負けず順調に育っています。周辺の畑よりカボチャは大きく、つたの伸びも良い。

去年より作物の種類が増えたカタギリ農園。土の起こし方、肥料、種まきの時期からいつも色々アドバイスをもらっている「アグリアドバイザー」の北海器材工業 小松さん。

作物の育て方について教えてもらっている最中です。

今年は、カボチャ・枝豆 成育良し。玉ねぎ・ジャガイモ 順調。雨にも風にも霧雨にも負けず順調に育っています。周辺の畑よりカボチャは大きく、つたの伸びも良い。



カタギリ農園 副農園長 本間優助

「アグリアドバイザー」小松さん
釣りもお得意「つり新」にも掲載

カタギリ農園通信

専門に狙うなら夜釣りがお薦め。コマセカゴを付けるとアカハラも寄ってくるので注意。



農園のアグリアドバイザー小松さん

★ワンポイント
コマイを

(週間つり新聞北海道・坂井宏彰より)

風が強く、海の水には濁りがあつたせいか、マガレイは誰にも上がらなかつたようなが、マガレイは状況回復後に期待したい。

去年より作物の種類が増えたカタギリ農園。土の起こし方、肥料、種まきの時期からいつも色々アドバイスをもらっている「アグリアドバイザー」の北海器材工業 小松さん。

作物の育て方について教えてもらっている最中です。

今年は、カボチャ・枝豆 成育良し。玉ねぎ・ジャガイモ 順調。雨にも風にも霧雨にも負けず順調に育っています。周辺の畑よりカボチャは大きく、つたの伸びも良い。



6月23日午前7時半ごろ、釧路西港の西防波堤で良型のクロガシラなどが上がっていた。

先端手前50メートル、地元の小松忠勝さん(65)が外海側にキャストしていた。スカリの中身は、32と35匹のクロガシラが4匹に、小型のコマイが1匹だった。小松さんは4時ごろに入釣。14合の胴付き仕掛け2本バリに塩イソメを掛け、40と50斤投げた。すぐにカワガレイがヒットしたという。以後クロガシラも釣れ始め、小型のコマイも交じった。

片桐機械の仮設トイレも大活躍！

「2018年度航空祭」 航空自衛隊千歳基地

7月22日(日) 航空自衛隊千歳基地にて、「2018年度航空祭」が開催されました。ニュース等で連日、猛暑日や気温40度超えの報道がされていますが、この日の千歳市は午前中から曇天で、肌寒ささえ感じました。

厚い雲が低空まで立ちこめていた為、午前中の「F-15」などのフライトは中止となりましたが、午後からは徐々に天候が回復し、「ブルーインパルス」のアクロバット飛行などは予定通り披露されました。

また今回の航空祭では、今年度で引退となる政府専用機が初めて2機同時に一般披



午後から天候も回復し「ブルーインパルス」のアクロバット飛行が披露された



片桐機械の仮設トイレも大活躍



露され、注目を集めました。

このため今年の航空祭の来場者数は、ここ5年間で最も多い約8万4千人が道内外から訪れました。家族連れや親子連れが多かったですが、中にはバスーカのような遠レンズのついたカメラを構えている人や、上下迷彩柄ファッションのマニアックな愛好者の姿も見られました。

当グループからは、仮設トイレ等が出庫されましたが、8万人超の来場者のニーズに応え、フル回転で使用され安心と満足を提供していました。

「ばいじん処理施設」新設工事着工

レンテック

年間1万トン受け入れに向けて準備着々

レンテック(本社 苫小牧)で7月4日(水) ばいじんリサイクル施設の新築工事に向けた地鎮祭を行いました。(鉄骨造地上1階、延床面積852.80㎡)

レンテックは、以前まで行っていた建機事業を今年4月に片桐機械に完全移管し環境に特化した事業体となり従来から行っている無機質汚泥のリサイクル処理に加え、新たにばいじん処理事業を展開していく。

王子製紙苫小牧工場から協力してほしいと依頼を受けレンテックでばいじんリサイクル改良土の溶出分解試

験・研究した結果、事業としてやっていけると判断し今回の処理施設を準備することになりました。

王子製紙苫小牧工場では、年5万トンの排ばいじんを社内でも埋め戻し及び最終処分を行っていたが、処理機械の老朽化や人材の問題などもありアウトソーシング化を検討していました。

スタートは、年間1万トンの受け入れと収集運搬を行う予定となっており、ばいじん固化処理ミキサプランとも準備する予定。設営は岩倉建設様で12月中旬完成予定となる。



「ばいじん処理施設」の地鎮祭で鍬入れをする片桐社長
7月4日 苫小牧市 レンテック本社敷地にて
(レンタコム戸川翔太 撮影)

北海道の新たな一歩とともに

レンテック

「ユニ・ソイル」の継続的PR

6年連続出展 I-T時代に課題残す

「北洋洋銀行ものづくりテクノフェア2018」

優れた技術や製品を有する中小企業、大学、支援機関などが一堂に会する場として毎年開催されている「ものづくりテクノフェア」が今年も7月26日(木)にアクセスサッポロで開催されました。

販路拡大や企業間連携の促進、情報交換や技術交流を通じて、北海道のものづくり産業の振興を図ることを目的とし、食品業界・流通業界・I-T業界などを中心に幅広い業界関係者のニーズに応え商談する場としても活用されています。

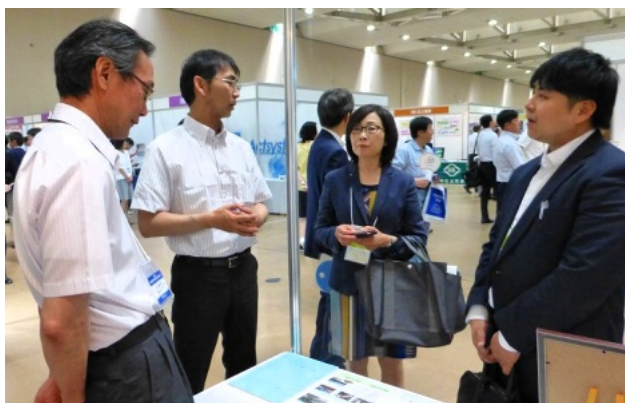
(出展企業数 227社)

レンテックは「地域交流/北海道胆振総合振興局」枠として出店し、環境リサイクル土「ユニ・ソイル」を来場者に広くPRし理解を深めて頂いております。

6年前に初めて出展した際には、建設関連業者なども多数ブースに来て頂きリサイクル改良土に高い関心を持って頂きましたが、近年はI-Tを絡めた製品を出展する企業が多く、来場者も食品製造業や農林漁業関連の方が多く、目線がI-Tに向いているようにも感じました。

この日担当していたのは苫小牧営業所の黒田所長と石狩営業所の松永所長。

「毎年、リサイクル改良土『ユニ・ソイル』をPRしているが出展物が『土』なので、PR方法が難しい。近年は情報化施工などI-Tを駆使した建設方法が注目を集めており来場者は常に新しいモノを探しにきている。もし来年も出展するのであれば、何かPR方法を見直さなければならぬ」と話す。



「ユニ・ソイル」のPRをする松永所長と黒田所長(左側)(7月26日 アクセスサッポロにて)

石狩工場の環境整備に大いに関心 道外参加者との問題点や改善方法などを共有

大型造粒設備の工場見学

焼却灰再利用・新規事業研修会 懇親会

日本リ・ソイル工業共同組合 北海道部会研修・見学会開催

レンテック 石狩営業所

所長 松永 仁志



7月5日(木) 日本リ・ソイル工業共同組合北海道部会の研修・見学会が開催されました。

当日の午前中まで悪天候が続き、交通被害も多く出ていたなか、北海道内3社・道外6社(全9社・24名)の参加があり、レンテック石狩工場の見学会 ↓ ホテルサンルートニュー札幌にて研修会 ↓ 札幌ヒール園での懇親会を執り行ない、無事に終了できたことに満足し、ありがたく思います。

石狩工場では、昨年度より大型造粒設備を増設し大量の汚泥受入の実績もでき、参加者の皆様に設備・機械の見学をして頂きました。大ききや処理能力はもちろんですが、飛散防止設備を含めた環境整備にとっても関心を抱いてもらいま

した。

研修会では、赤崎専務より焼却灰再利用・新規事業の概要と進捗状況の説明と、工藤定実理事より循環資材を利用した地盤材料の講義が行われ、質疑応答を含め各社・新規事業への関心の高さを感じました。

さて懇親会の盛り上がりについては伝えるまでも無いと思います。いろいろお話させて頂き、都道府県・支庁の違いはありますが、同様な問題点や様々な改善方法があり、改めて勉強になりました。



大型造粒設備を見学する日本リ・ソイル工業共同組合員 (7月5日 石狩にて)